

「大分県医師確保計画(素案)」に対する県民意見の募集結果について

- (1)実施期間 令和2年1月17日(金)～2月17日(月)
 (2)提出意見 3件

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況
1	<p>第4章 医師確保に関する方針、目標医師数及び施策</p> <p>大分市や別府市に比べて地域では開業する診療所が少なく、将来的に医療が受けられるか不安なので、もっと地域に医師が集まるような対策をお願いしたい。</p>	<p>各医療圏毎の医師確保については、以下のとおり記載(4～5頁)し、実施することとしています。</p> <p>第4章の1 (2)二次医療圏の医師確保に関する方針 ○医師少数区域、医師少数でも多数でもない区域については、医師数の増加を図ることを医師確保の方針とします。 ○医師多数区域(医師少数スポットを除く:大分市、別府市が該当)については、基本的な方針として医師の確保は行わないこととします。 (3)目標医師数の考え方 ○県としては、本計画で定めた医師確保の方針に基づき、地域中核病院における医師不足の状況を踏まえた医師確保の取組を引き続き行うこととします。</p>
2	<p>第5章 第2節 産科における医師確保計画</p> <p>地域では出産できる施設が少なくなっているため、各地域で女性が安心して出産できるように産科医師を増やしてほしい。</p>	<p>産科医師の確保については、以下のとおり記載(13～14頁)し、実施することとしています。</p> <p>第5章 第2節の3 (1)産科医師確保に関する方針 ○県内の産婦人科医師が最近10年近く増加していないことや県内の分娩可能な医療施設が減少傾向にあること、(…中略)等の状況を踏まえ、全県的に産科医師の増加を図ることを産科における医師確保の方針とします。 (2)産科医師を増やすための施策 ①自治医科大学医師、地域卒医師の育成・確保 ②産科を専攻するためのインセンティブの付与 ③産科医師の派遣調整 等</p>
3	<p>第4章 医師確保に関する方針、目標医師数及び施策</p> <p>地域の開業医は高齢化が進み、また地域での開業も少ないことから、地域の医療が維持されるよう、高齢の開業医に対する対策をお願いしたい。</p>	<p>地域の診療所の存続を図る上で、開業医の高齢化や後継者不足は重要な課題であると認識しています。現在、日本医師会や医師の就職斡旋を行う民間業者が診療所の事業承継を支援する取組を行っており、県としてどのような支援ができるか、引き続き国や他県の動向等を注視しながら検討していきます。</p>